

神秘が宿る岩清水を調査

わが町のお宝さがし探検隊

新冠町の約半分の面積を占め、日本百名山の一つ秀峰幌尻岳がある岩清水地区。そんな広大な面積であるにもかかわらず、日高山脈の険しい山々に囲まれているため、この地区についてはまだまだ知られていないことがたくさんあります。

そんな岩清水地区の資源を調査し、ふるさと新冠をさらにPRできればと、新冠町商工会青年部が活動の中心となる岩清水地区資源調査事業がスタートし、6月1日、商工会青年部、山岳会、猟友会、役場職員の28名の皆さんが、岩清水地区の湧水と鍾乳洞の調査を行いました。



山深い険しい沢での調査は想像以上に大変だったそうですが、4つの沢から湧水採取し、持ち帰り、水質検査を行なったところ、全て飲める水だったそうです。今後は、この結果をもとに報告会を開く予定です。

青々としたピーマンが全国へ

新冠農協で共同出荷始まる

道内一のブランドとなった新冠ピーマン。6月13日、新冠町農業協同組合ピーマン選果場で共同出荷がスタートし、本格的なシーズンがスタートしました。

今年のピーマン栽培農家は42戸で作付面積は14・5畝。出荷数量1、210ト、販売額3億2千万円と3年連続で販売額3億円突破を目標としています。



主に、道内では札幌、旭川、道外では大阪、名古屋、千葉、石川県に出荷されるそうです。

朝日の森でツリークライミング

朝日小学校放課後子ども教室

今年の5月からスタートした放課後子ども教室。この放課後子ども教室の体験メニューの一環としてツリークライミングが、6月27日、朝日小学校の朝日の森で行なわれました。

今回、ツリークライミングに挑戦したのは、小学1・2年生の約20名。講師の梁田信廣さんやコーディネーターの松本恵湖さんの指導の下、ニレ（アカダモ）の木に吊るした約16メートルの高さのロープでツリークライミングを行ないました。

ほとんどの子供たちが初挑戦とあって、最初は登り方がわからず、悪戦苦闘する場面もありましたが、なかなか登れない1年生には2年生が教えてあげるなどして、参加した全員が登ることができました。子供たちも「最初は難しかったけど、楽しかった。」と声を揃えて話してくれました。



題

あれこれ

たくさんのご声援ありがとうございました

新冠町役場野球部全国大会に出場

6月20日から23日、福井県で第30回東日本軟式野球大会一部の全国大会が開催され、北海道南代表として新冠町役場野球部が出場し、全国の強豪チーム相手に1回戦突破を果たしました。

この大会に出場したのは東日本地域の29チーム。開会式は完成したばかりの福井フェニックススタジアムで行なわれ、福井県知事から歓迎の言葉をいただきました。

1回戦は、栃木県代表の益子ドビンズと対戦。試合は逆転につぐ逆転で延長戦に突入し、延長11回、八木選手のサヨナラヒットで11対10と劇的なサヨナラ勝ちを収めました。

2回戦は茨城県代表の牛久保アースと対戦し、善戦しましたが、3対4で敗れました。

この大会に野球部が出場するにあたり、職場の応援はもちろん、多くの町民の皆様から温かいご声援をいただきました。本当にありがとうございました。



ま ち の 話

入賞おめでとうございます

第16回北海道アメニティ・テニソン大会

6月15日、砂川市総合体育館をメイン会場に第16回北海道アメニティ・テニソン大会が開催され、女子1部で松平愛子さん、西川芙佐子さんペア、女子2部で高橋教子さん、村上偕子さんペアが共に3位入賞を果たしました。

この大会は全道から強豪が集まる大会として知られていますが、両ペアとも、普段の練習の成果を発揮し、息の合ったコンビネーションで大健闘しました。



約7千尾のやまめを放流 比宇川・芽呂川

6月21日、比宇川と芽呂川でやまめの放流(比宇川流域環境保全会主催)が行なわれ、美宇保育所の園児や地域住民の方など40名が参加しました。

参加者は、平成15年の台風災害以後、魚の姿を見かけることが少なくなった比宇川と芽呂川に約7千尾のやまめの稚魚を放流し、周辺の清掃活動も行いました。



東栄団地に新たな花の名所が誕生

地域の方や団地の入居者の方に親しんでもらおうと、約2万7千株の芝桜が東栄団地の敷地内に植えられ、鮮やかな芝桜の花が地域の方々の目を楽しませました。

この芝桜の見ごろは5月下旬から6月中旬まで。今後、雑草などの草むしり等の維持管理は地域の方々のボランティアで行なわれるそうです。

